第 63 回運転・保守分科会議事録（案）

1. **日　時**：2026 年 10 月 22 日（木）10:00～11:30

2. **場　所**：日本電気協会 D 会議室（Web 併用会議）

3. **出席者**：（敬称略，順不同）

出 席 委 員：出町分科会長(東京大学)，宮園幹事(日本原子力発電)，大野(日立 GE ﾍﾞﾙﾉﾊﾞﾆｭｰｸﾘｱｴﾅｼﾞｰ)，
西（東芝），山上(三菱重工業)，芦谷(九州電力)，伊藤(東北電力)，林(北陸電力)，鈴木直(中部電力)，
井門(四国電力)，長江(東京電力 HD)，野中(電源開発)，藤田(北海道電力)，山本(関西電力)，
最上(日本原燃)，川島(JAXA)，桐本(電力中央研究所)，齋藤(日本原子力研究開発機構)，
近澤(日本原子力研究開発機構)，歌野原(公立小松大学)，渡辺(元福井大学)，
井口(発電設備技術検査協会)，坂元(原子力安全推進協会)，小倉(元ｳﾂｴﾊﾞﾙﾌﾞｻｰﾋﾞｽ)，
仲井(元日本原子力研究開発機構)，内山(原子力安全ｼｽﾃﾑ研究所)，濵田(原子力発電訓練センター)
（計 27 名）

代理出席者：佐藤(中国電力)　（計 1 名）

欠 席 委 員：糸井(東京大学)，木倉(東京科学大学)，鈴木正(中京大学)，高橋(東北大学)，
岩垂(BWR 運転訓練ｾﾝﾀｰ)，久保(日本ｴﾇ・ﾕｰ・ｴｽ)　（計 6 名）

説　明　者：運転管理検討会　近藤主査(東京電力 HD)，坂元副主査(原子力安全推進協会)
防火管理検討会　永田主査(東京電力 HD)，宮下委員候補(関西電力)
運転保守指針検討会　松澤主査(東京電力 HD)，米澤副主査(日本原子力発電)
浜田(日本原燃)　（計 7 名）

常時参加者：なし　（計 0 名）

オブザーバ：なし　（計 0 名）

事　務　局：伊藤(日本電気協会)　（計 1 名）

4. **配付資料**

63(1)-1　運転・保守分科会委員名簿
63(1)-2　運転・保守分科会委員名簿(日程調整)

63(2)-1　運転管理検討会委員名簿(案)
63(2)-2　緊急時対策指針検討会委員名簿(案)
63(2)-3　保守管理検討会委員名簿(案)
63(2)-4　防火管理検討会名簿(案)

63(3)　第 62 回運転・保守分科会議事録(案)

63(4)　JEAG4803-1999 廃止に伴う技術資料の HP 掲載

63(5)-1　ASME O&M 調査に係る会議体の設置について
63(5)-2　ASME O&M 調査 WG 名簿

63(6)　所掌規格の状況報告(案)

5. 議　事

事務局から，本会議にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触するおそれのある活動を行わないことを確認の後，出町分科会長の開催の挨拶があった。

(1) 代理出席者，オブザーバ，委員定足数，常時参加者，説明者，配付資料の確認

事務局より代理出席者1名の紹介があり，分科会規約第7条（委員の代理者）に基づき，分科会長の承認を得た。代理を含めた出席委員数は28名であり，分科会規約第10条（会議）第1項の開催条件の委員総数の3分の2以上の出席を満たしているとの報告があった。その後，説明者7名の紹介及び配布資料の確認があった。また，資料 No.63(1)-1 に基づき，以下運転・保守分科会新委員の紹介があり，新委員より挨拶があった。

西委員(東芝)，林委員(北陸電力)，井門委員(四国電力)，最上委員(日本原燃)，内山委員(原子力安全ｼｽﾃﾑ研究所)

(2) 検討会新委員候補について（審議）

事務局より，資料No.63(2)シリーズに基づき，下記検討会委員の変更について説明があった。分科会規約第13条（検討会）第4項に基づき，検討会委員変更について分科会規約第12条（決議）第4項に基づく決議の結果，出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

【運転管理検討会】

・委員退任　柏木　委員（東北電力）	・委員候補　松宮　氏（同左）
・委員退任　野村　委員（中部電力）	・委員候補　嶋本　氏（同左）
・委員退任　橋本　委員（九州電力）	・委員候補　平原　氏（同左）
・委員退任　吉岡　委員（北陸電力）	・委員候補　長森　氏（同左）

【緊急時対策指針検討会】

・委員退任　河津　委員（九州電力）	・委員候補　山崎　氏（同左）

【保守管理検討会】

・主査退任　牧原　委員（東京電力HD）	・委員候補　加藤　氏（同左）
・副主査退任　明石　委員（四国電力）	・委員候補　織田　氏（同左）
・副主査退任　平原　委員（九州電力）	・委員候補　角　氏（同左）

【防火管理検討会】

・副主査退任　香川　委員（関西電力）	・委員候補　宮下　氏（同左）
・委員退任　阿部　委員（東北電力）	・委員候補　小神　氏（同左）
・委員退任　橋本　委員（九州電力）	・委員候補　蘭　氏（同左）
・委員退任　吉岡　委員（北陸電力）	・委員候補　長森　氏（同左）

主なご意見・コメントは下記のとおり。

・　主査や副主査が交代しているケースでは，主査や副主査は新委員の中から選出されるのか。

→ 新委員の中から選出するという決まりはなく，主査は検討会委員の互選によって選任，副主査は検討会委員の中から主査が指名することを協会の規約で定めている。

(3)　前回議事録の確認（審議）

事務局より，資料 No.63(3)に基づき，前回議事録（案）の説明があり，正式議事録とすることについて分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，特にコメントは無く，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

また，事務局より以下紹介があった。

- JEAG4102-2025：7/25 発刊
- JEAC4209/JEAG4210-2026：9/20 発刊

(4)　JEAG4803-1999 廃止に伴う技術資料の HP 掲載について（報告）

事務局より，資料 No.63(4)に基づき，JEAG4803-1999 廃止に伴う技術資料の HP 掲載について説明があった。

また，運転保守指針検討会の米澤副主査より，下記の説明があった。

- JEAG4803-1999 を廃止し技術資料化を図った。規格基準ではないが，中身は規格基準をそのまま転載している形であるため，今後新たな仕事をする時に参照することができる。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- 技術資料を見ることはできるが，引用するには ASME の使用許諾が要る。使いたい時に ASME の許諾が要るのであれば，最初から技術図書そのものを HP に掲載した方がよいのではないか。

→ 閲覧したい時に電気協会事務局へ連絡を入れた際，閲覧を除き許諾が必要であることを個別にお伝えするが，許諾の取得方法等はその都度調整になると思っており，予めルールを定めておくことは難しい。

- 最新版 ASME O&M の調査にて許諾の話になった時には，当該規格を日本で引用して使えるように考えてほしい。

→ 最新版の引用が必要であるかから始まって，引用先としてできること（例えば，JSME 経由で ASME と契約）はないかといったことも含め，調査ワーキングの方で検討していきたい。

(5)　運転保守指針検討会の廃止について（審議）

出町分科会長より，資料 No.63(5)-1 に基づき，運転保守指針検討会の廃止及び ASME O&M 調査に係る会議体の設置について説明があった。また，事務局より，資料 No.63(5)-2 に基づき，会議体のメンバーについて説明があった。

- 1999 版 ASME O&M を元にしていた JEAG4803-1999 の廃止を受け，運転保守指針検討会を廃止し，最新版 ASME O&M に日本が取り入れるべき要素があるかどうかを勉強会の形で調査する。
- 会議体は，運転・保守分科会傘下のワーキンググループとし，メンバーは運転保守指針検討会の松澤主査，米澤副主査も含め委員が横滑り，検討結果等は電気協会 HP に非掲載とする。
- 作業が完了した暁には，分科会の場で概要を報告する。ただし，議事録等を正式資料にした場合，公開と共に ASME O&M で使用許諾を取得する必要が出てくるため，これらは内部資料扱いとする。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ワーキングでは最新 ASME の情報共有に注力したい。仮に規格化となれば，改めて検討会の設置等をしていくが，1999 年版のように電気協会と ASME で使用許諾を取り交わすのは時期尚早である。

・ この内容だと会議体の位置付けが不明確であるため，電気協会の規約に則りタスクとしてはどうか。

→ 他の分科会でも電気協会 HP に掲載していないが，実作業部隊の位置付けとしてワーキングを設置している。電気協会の会議体となると検討結果を公開しなければならず，結果して，ASME の許諾が必須になってしまうため，協会活動ではあるものの，非公開の位置付けで活動したい。

→ 議事録や資料も公開請求の対象になるため，許諾外の範囲で協会の活動に迷惑を掛けないような資料作成や報告にとどめたい（エビデンスの提示は一切せず，エッセンスのみを報告するイメージ）。

→ ワーキングは主査の下で活動していくので，名簿順は主査をトップとし，出町分科会長及び宮園幹事を常時参加のような形で位置を見直す。

○ 特に異論がなかったので，運転保守指針検討会を廃止することに対し，分科会規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき決議の結果，特にコメントはなく，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(6) 所掌規格の状況について（報告）

事務局より，資料 No.63(6)に基づき，所掌規格の状況について説明があった。

また，防火管理検討会の永田主査及び運転管理検討会の近藤主査より，下記の説明があった。

＜防火管理検討会＞

・ 10 月に開催。JEAG4103 の改定から 5 年目となり規格を見直すべきか確認しているが，新規制後の火災防護では，特に BWR 系の実績が出ておらず，改定作業に入るには時期尚早との意見があった。

・ 至近の火災状況や国内外規格等から得られる最新知見はないことも確認しており，次回の分科会では，改定時期等について報告する。

＜運転管理検討会＞

・ 8 月に開催。規制側の方で JEAC4804 の元になる運転責任者に係る基準等に関する規程が 10 月 8 日に施行されたため，JEAC4804 への影響の有無を確認している。併せて，JEAC4804 を元に各電力で作成している合否判定規程の中身への影響についても確認を行っている。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

＜防火管理検討会＞

・ 出町分科会長より，現時点では改定の差し迫った必要はないと認識したが，引き続き調査や検討を続け変化があったら適宜報告するよう要望があった。

＜運転管理検討会＞

・ 出町分科会長より，主に JEAC4804 への影響を調査している状況だが，調査を継続する中で規格に影響があるような事項が判明したら分科会で説明するよう要望があった。

→ 現時点では規格の改定に影響のあるような情報は入っていないが，必要に応じ，適宜報告する。

(7) その他

① 次回運転・保守分科会の議題予定及び開催日程

・ 次回運転・保守分科会は，2027 年度運転・保守分科会活動計画，ASME O&M 調査 WG の活動状況（進捗により議題に挙げるか判断）を予定。開催時期は 2 月中旬から下旬頃を目途とし，別途調整する。

② 基本方針策定タスクからの共有事項

・ 事務局より，参考資料に基づき，第 91 回基本方針策定タスク(9/14 開催)からの共有事項につい説明した。

→ JEAC4601（原子力発電所耐震設計技術規程）技術評価における規制庁コメントに対して，阿部委員長は，規格を制改定する際に下記の 4 点を確認せず規格が承認されていたことを問題視されている。

① 技術的根拠における網羅性

② 評価手法の適切性

③ 過去の研究成果の適用性

④ 根拠の論理性の確認

→ これを受け，日本電気協会では「例：規格作成手引き等」の改定に着手するが，これらの改定には時間を要すること，また，運転・保守分科会傘下の検討会では現在制改定を進めている規格がないことから，本件は情報共有とどめるものの，今後の規格制改定の際に留意いただくよう依頼した。

・ 宮園幹事より，下記の補足説明があった。

→ 規格を制改定する際に，しっかりとした技術的根拠や検討の網羅性等を押さえておくことは，電気協会の活動の中で非常に重要な部分であるため留意いただきたい。

→ 規制庁からの指摘に対して単純に合わせるだけはなく，新技術や規制要求の解釈等で意見が分かれるところは，採用にあたっての検討や議論を我々の中でしっかりとした上で先方とも議論すればよい。

以　上